

問い合わせ先
第十一管区海上保安本部
海洋情報調査課長 鈴木 晃
TEL098-867-0118(内線2530)

奥港付近 流況調査 結果速報

平成20年8月18日
第十一管区海上保安本部

～「リーフカレント」の発生が観測されました～

当本部では、マリンレジャー海域における海難事故防止の一環として、珊瑚礁付近における流況調査を実施し、リーフカレント発生状況の把握等に努めています。

今年8月4日～7日に実施した奥港付近の観測では、リーフの内側から外側に向かうリーフカレントが観測されました。マリンレジャー等、本海域の利用には、このような危険な流れ等に十分な注意が必要です。

【結果概要】

奥港付近(左図「観測海域」参照)で漂流ブイを用いた漂流観測等を行いました。

その結果、概ねリーフ内側から外側に向かうリーフカレントが観測されました。特に高潮時から低潮時にかけて、最大で約40cm/s(時速で約1.5km)のリーフカレントが観測されました。

流況調査中においてもシュノーケリングやサーフィン、キャンプ等の様々なレジャーを楽しむ姿が見受けられましたが、本海域は、リーフカレントが原因と思われる海難事故が発生しており、海域の利用の際にはリーフカレントについての注意が必要です。

現在、観測結果を解析中ですが、その結果はインターネットを通じて観測報告として公開します。

その他、インターネットには、海域毎における様々なリーフカレントに関する観測結果のほか、リーフカレントの発生状況が撮影された航空写真等、リーフカレントに関する情報が多数掲載されていますので、参考情報としてご活用ください。

インターネットアドレス <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN11/>

観測海域



リーフカレント
観測海域



～漂流ブイのデータから見たリーフカレント等の様子～

図中の細い赤線・緑線は、漂流ブイの実際の漂流経路です。

辺戸岬方面

この海域の沖では、リーフカレントとは異なる流れとして、時間帯によっては辺戸岬方面に向かう約70cm/s(時速で約2.5km)の流れが観測されました。

リーフの切れ目
(リーフギャップ)

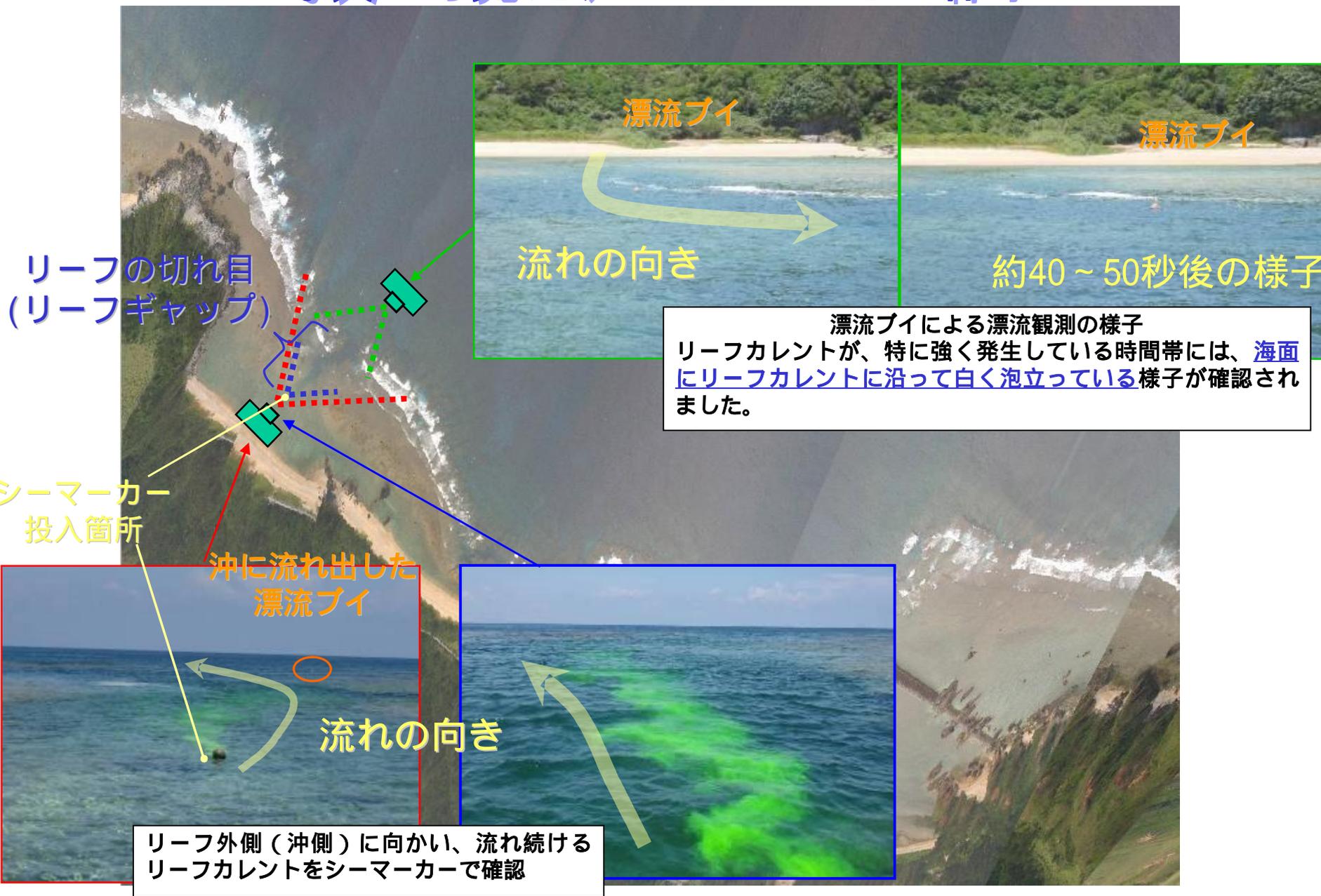
リーフの切れ目(リーフギャップ)に沿ってリーフ内からリーフ外に向かう、約40cm/s(時速で約1.5km)のリーフカレントが観測されました。

今回の観測では、高潮時からしばらく経ってから低潮時にかけて、リーフカレントが特に強く発達することが観測されました。但し、リーフカレントは、気象・海象により発生状況が大きく変化しますので、常に注意が必要です。

奥港



～写真から見たリーフカレントの様子～



リーフの切れ目
(リーフギャップ)

シーマーカー
投入箇所

沖に流れ出した
漂流ブイ

流れの向き

リーフ外側(沖側)に向かい、流れ続ける
リーフカレントをシーマーカーで確認



漂流ブイによる漂流観測の様子
リーフカレントが、特に強く発生している時間帯には、海面にリーフカレントに沿って白く泡立っている様子が確認されました。